

第58回全国卓球選手権大会NEWS NO.3

発行:新日本スポーツ連盟全国卓球協議会 2022.12.20 全国大会事務局 TEL 03-5834-8734 zenkoku@stta.jp

全国大会一般の部は無事終了いたしました。

団体戦の部 男子94T 女子43T 合計137T 約685名 個人戦の部 男子163名 女子97名 合計260人

のべ945人の参加がありました。出場都道府県は33になりました。 男子団体は四つ角のチームが一つも残りませんでした。コロナのせいもあってベストのメンバーでこれなかったこともありますが、新

しい力が台頭していることを感じました。

女子団体はTOMOクラブ(東京)が今年は厳しいといいつつもすべて退けて優勝。強かったです。個人戦も新しい力が大活躍しました。優勝した西坂優也選手(Freedom・兵庫)、3位村田優弥選手(Freedom・兵庫)、木村勇介選手(関西クラブ・岡山)の皆さん、若い! その中にあって築地佑太選手(スマイル・東京)が準優勝しました。カットマンをやめたかのような攻撃力は素晴らしかったです。なお、3位の村田選手のお父さんは10年前、この会場で30Lで優勝された村田寿仁さんです。

女子は第1ブロックを勝ち抜いた岩濱郁佳選手(Freedom・兵庫)と清水真梨選手(倉田クラブ・岡山)はフルセットで豪打清水選手に軍配が上がりました。どちらが勝ってもおかしくなかった試合でした。3位になった武岡なえ選手(ヤウンクルクラブ・北海道) 宮田琴生選手(レッツ&TTA・埼玉)両選手も相手を苦しめた好ゲームでした。年代別の部は2023.4.7~9 ジップアリーナ岡山で行います。

2023年度の全国大会の予定

一般の部 群馬県高崎市 高崎アリーナ 2024.2.24 (土) ~25 (日) 年代別の部 三重県津市 津市産業・スポーツセンター (サオリーナ) 2024.4.27 (土) ~28 (日)

選手のコメント

男子団体優勝 infinity (神奈川)

YoutubeなどSNSを駆使して結成したクラブ。周囲の卓球仲間の方からこの大会に出場していることを聞いて出場した。初出場で優勝を目指すと宣言、有言実行をむねとしているが成し遂げることができた。メンバー個々の力を結集すれば達成できるという見通しがあったのは確かだ。今後は、実績を上げ、またSNSで活動を伝えることにより成果の還元にも務めていきたい。



男子準優勝 ダイナモ(兵庫)

(準決勝の激戦を制しての準優勝という結果について問われて)優勝はできなかったが、コロナ禍で十分な活動ができない時期を経てのこの結果に満足している。よくここまできた、やり切った、という思いだ。



女子優勝 TOMO クラブ (東京)

中高一貫校のOGメンバーで構成。昨年から2連勝となるが、全体的にレベルが上がっていることを感じた。 練習場の雰囲気からしてそのことが伝わってきた。 結婚するなどしてお休みするメンバーもあるが、協力しあって楽しく卓球を続けていきたい。



男子個人優勝 Freedom 西坂優也(兵庫)

小3から地元のクラブに入会して卓球を続けてきた。 現在高校3年であり、今回の大会の相手は年上かつ格上 でチャレンジの連続だった。大学でも競技選手として卓 球を続けていくことが決まっているのでさらに精進し たい。



女子個人優勝 倉田クラブ 清水真梨 (岡山)

現在大学2年で学生対象の大会に多く参加してきたが、そこでの打球の速さに対して、今回はゆっくりしたボールが多く処理に難しさを感じた。決勝戦は接戦になったが、サーブエースが決まって流れを掴んだと感じた。



PHOTO GALLERY















